



OnCommand Workflow Automation データベースをバックアップしています OnCommand Workflow Automation

NetApp
October 09, 2025

目次

OnCommand Workflow Automation データベースをバックアップしています	1
ユーザクレデンシャルのバックアップとリストア	1
Web ポータルから WFA データベースをバックアップします	1
PowerShell スクリプトを使用して WFA データベースをバックアップします	2
CLI を使用した WFA データベースのバックアップ	3
CLI を使用して WFA データベースをバックアップ（フル）します	3
CLI を使用して WFA データベースを（通常の）バックアップします	3
REST API を使用した WFA データベースのバックアップ	4
REST API を使用して WFA データベースのフルバックアップを実行します	4
REST API を使用して WFA データベースの定期的なバックアップを実行します	5

OnCommand Workflow Automation データベースをバックアップしています

OnCommand Workflow Automation (WFA) データベースのバックアップには、システムの設定と、プレイグラウンドデータベースなどのキャッシュ情報が含まれます。バックアップは、同じシステムまたは別のシステムでのリストア目的で使用できます。

データベースの自動バックアップは、毎日午前 2 時に作成されます。ファイルは .zip ファイルとして `wfa_install_location/wfa_Backups` に保存されます。

WFA は、`wfs-Backups` ディレクトリに最大 5 つのバックアップを保存し、最も古いバックアップを最新のバックアップに置き換えます。WFA をアンインストールしても、`wfs-Backups` ディレクトリは削除されません。WFA のアンインストール時に WFA データベースのバックアップを作成しなかった場合は、自動的に作成されたバックアップをリストアに使用できます。

また、リストアのために特定の変更を保存する必要がある場合に、WFA データベースを手動でバックアップすることもできます。たとえば、自動バックアップの実行前に行った変更をバックアップする場合などです。



- WFA のデータベースバックアップは、同じバージョンかそれ以降のバージョンの WFA を実行しているシステムにのみリストアできます。

たとえば、WFA 4.2 を実行しているシステムで作成したバックアップは、WFA 4.2 以降を実行しているシステムにのみリストアできます。

- ハイアベイラビリティ構成では、ディザスタリカバリ時に Web UI を使用して WFA データベースをバックアップすることはできません。

ユーザクレデンシャルのバックアップとリストア

WFA データベースのバックアップには、WFA ユーザクレデンシャルが含まれます。



WFA データベースは AutoSupport データにも含まれていますが、WFA ユーザのパスワードは AutoSupport データには含まれていません。

WFA データベースをバックアップからリストアしても、次の項目は保持されます。

- 現在の WFA のインストール時に作成された管理者ユーザクレデンシャル。
- デフォルトの `admin` ユーザ以外の `admin` 権限を持つユーザがデータベースをリストアする場合は、両方の `admin` ユーザのクレデンシャルが必要になります。
- 現在の WFA インストール環境のその他すべてのユーザクレデンシャルは、バックアップのユーザクレデンシャルに置き換えられます。

Web ポータルから WFA データベースをバックアップします

Web ポータルから OnCommand Workflow Automation (WFA) データベースをバックアップし、データのリカバリに使用することができます。Web ポータルからフルバック

アップを実行することはできません。

このタスクを実行するには、管理者またはアーキテクトのクレデンシャルが必要です。

バックアップロールを持つ WFA ユーザは、Web ポータルにログインしてバックアップを実行することはできません。バックアップロールの WFA ユーザは、リモートバックアップまたはスクリプトバックアップのみを実行できます。

手順

1. WFA Web GUI に admin としてログインします。
2. [* 設定 *] をクリックし、[* メンテナンス *] で [* バックアップと復元 *] をクリックします。
3. [バックアップ] をクリックします。
4. 表示されたダイアログボックスで場所を選択し、ファイルを保存します。

PowerShell スクリプトを使用して WFA データベースをバックアップします

OnCommand Workflow Automation (WFA) データベースを頻繁にバックアップする場合は、WFA インストールパッケージに付属の PowerShell スクリプトを使用します。

管理者ユーザクレデンシャル、アーキテクトクレデンシャル、またはバックアップユーザクレデンシャルが必要です。

詳細については、REST のドキュメントを参照してください。

手順

1. admin ユーザとして Windows PowerShell を開き、WFA データベースをバックアップします。「
`<wfa_install_location \wfa \bin\Backup.ps1 > -User user_name -Password password -Path backup_file_path`
◦ `wfa_install_location` には、WFA のインストールディレクトリを指定します。
◦ `user_name` は、admin ユーザ、Architect、または backup ユーザのユーザ名です。
◦ `password` は、admin ユーザ、architect ユーザ、またはバックアップユーザのパスワードです。
◦ `backup_file_path` は、バックアップファイルの完全なディレクトリパスです。



バックアップファイルは、`wfa_backup_servername_.zip` という形式の名前の zip ファイルです

- `wfa_backup_` は、ファイル名の固定部分であり、バックアップサーバの名前です。
- `servername` は Windows サーバ環境から抽出されます。
- `_.zip` は、ファイル名の固定部分です。「`C : \Program Files\NetApp\WFA\bin\Backup.ps1 - User backup - Password MyPassword123 - Path C : \wfa_backups\backup_10_08_12`」

バックアップが完了すると、次の出力が表示されます。C :
`\wfa_backups\backup_10_08_12\wfa_backup_myserver_.zip` 指定した場所にバックアップファイルが作成されたことを確認します。

CLI を使用した WFA データベースのバックアップ

OnCommand Workflow Automation (WFA) データベースを頻繁にバックアップする場合は、WFA インストールパッケージに付属の WFA コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用します。

2つのバックアップタイプを次に示します。

- フルバックアップ
- 定期的なバックアップ

CLI を使用して WFA データベースをバックアップ (フル) します

OnCommand Workflow Automation (WFA) データベースのフルバックアップを実行するには、WFA コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用します。フルバックアップでは、WFA データベース、WFA 設定、およびキーがバックアップされます。

管理者ユーザクレデンシャルまたは ARCHITECT クレデンシャルが必要です。

ハイアベイラビリティ環境では、REST API を使用してスケジュールされたバックアップを作成する必要があります。WFA がフェイルオーバーモードの場合、CLI を使用してバックアップを作成することはできません。

詳細については、REST のドキュメントを参照してください。

手順

1. シェルプロンプトで、WFA サーバの「wfa_install_location \wfa \bin.」ディレクトリに移動します

wfa_install_location には、WFA のインストールディレクトリを指定します。

2. WFA データベースをバックアップします。

```
..\wfa --backup --user[--password=pass][--location=path][--full]
```

- user は、バックアップユーザのユーザ名です。
- password はバックアップユーザのパスワードです。

パスワードを指定していない場合は、プロンプトが表示されたらパスワードを入力する必要があります。

- path は、バックアップファイルの完全なディレクトリパスです。

3. 指定した場所にバックアップファイルが作成されたことを確認します。

CLI を使用して WFA データベースを (通常の) バックアップします

OnCommand Workflow Automation (WFA) データベースの定期バックアップは、WFA コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して実行できます。通常のバックアップでは、WFA データベースのみがバックアップされます。

管理者ユーザクレデンシャル、アーキテクトクレデンシャル、またはバックアップユーザクレデンシャルが必要です。

ハイアベイラビリティ環境では、REST API を使用してスケジュールされたバックアップを作成する必要があります。WFA がフェイルオーバーモードの場合、CLI を使用してバックアップを作成することはできません。

詳細については、REST のドキュメントを参照してください。

手順

1. シェルプロンプトで、WFA サーバの「wfa_install_location \wfa \bin.」ディレクトリに移動します

wfa_install_location には、WFA のインストールディレクトリを指定します。

2. WFA データベースをバックアップします。

```
..\wfa --backup --user=user [--password=pass][--location=path]
```

- user は、バックアップユーザのユーザ名です。
- password はバックアップユーザのパスワードです。

パスワードを指定していない場合は、プロンプトが表示されたらパスワードを入力する必要があります。

- path は、バックアップファイルの完全なディレクトリパスです。

3. 指定した場所にバックアップファイルが作成されたことを確認します。

REST API を使用した WFA データベースのバックアップ

OnCommand Workflow Automation (WFA) データベースは、REST API を使用してバックアップできます。WFA がハイアベイラビリティ環境でフェイルオーバーモードになっている場合は、REST API を使用してスケジュールされたバックアップを作成できます。フェイルオーバーの実行中は、コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用してバックアップを作成することはできません。

次に、2 種類のバックアップを示します。

- フルバックアップ
- 定期的なバックアップ

REST API を使用して WFA データベースのフルバックアップを実行します

REST API を使用して、OnCommand Workflow Automation (WFA) データベースのフルバックアップを実行できます。フルバックアップでは、WFA データベース、WFA 設定、およびキーがバックアップされます。

管理者またはアーキテクトのクレデンシャルが必要です。

ステップ

1. Web ブラウザに次の URL を入力します。「+ [https://IP address of the WFA server/rest/backups ? full=true](https://IP address of the WFA server/rest/backups?full=true)」

詳細については、REST のドキュメントを参照してください。

REST API を使用して WFA データベースの定期的なバックアップを実行します

REST API を使用して、OnCommand Workflow Automation (WFA) データベースの定期的なバックアップを実行できます。通常のバックアップでは、WFA データベースのみがバックアップされます。

管理、設計、またはバックアップのクレデンシャルが必要です。

ステップ

1. Web ブラウザに次の URL を入力します。「+ WFA サーバの <https://IP アドレス /rest/backups>」

詳細については、REST のドキュメントを参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。